バディフットボールクラブスポーツ少年団

代 表 者　西尾　和孝
加盟人数　135名
設 立 年　平成５年

バディフットボールクラブ思い出と歴史

磐田市体育協会創立60周年おめでとうございます。このような伝統ある体育協会の傘下で活動できることを光栄に思います。私達バディフットボールクラブは磐田市見付を拠点に幼児部・女子部・小学生部と合わせて140人の選手達が毎週土曜日の午前を中心に練習をしています。

バディフットボールクラブは平成３年に磐田市の国府台に保育園の遊びの一環として活動を開始しました。当時は５～６人でのスタートでした。まだまだ、サッカーと言えるものではなくユニフォームだけは全員お揃いの物をそろえ公園の片隅で練習開始、しかし小学校のグラウンドで沢山の小学生が練習している所をうらやましく思ったこともありました。

平成６年にはフットボールクラブの母体であるバディ幼稚舎が見付に移転、園児の数も少しずつ増えサッカー好きなお父さんも練習に加わって少しずつサッカーらしくなってきました。そして、平成８年に東京バディより、体育の先生として地元に戻って来た先生がバディ幼稚舎に入社そしてサッカーの指導にも加わり幼児としては初めてのサッカー大会『ハックキミサワ杯』に出場するも惨敗、閉会式の時優勝したチームの子供達がニコニコしながら受け取っていたトロフィーを『いつかもらってみたいね』と帰途に着いたことも良い思い出です。

そして、バディフットボールクラブとして転機が訪れたのは小学生になった子供達の試合への参加、協会への登録をしなければ試合の参加が出来ないと言う事から子供達のこれからも考えて平成10年に協会への登録が完了。

登録当時は試行錯誤の日々、周りのチームの方々に助けられ教えられ大会への参加も実現しました。そして、翌年には地区予選（天竜東地区）を第３位ながら初の県大会の出場権を獲得。

初出場の県大会では洗礼を浴び４対０の完敗で帰って来ました。こうした苦い経験を糧に、子供達の頑張り・コーチの適切な指導・保護者の応援もありチーム力を付けると共に幼稚園時代のサッカーの子供達も小学生へと続き団員の数も増えていきました。

時には接戦の末、タイトルを逃し涙を流しながらベンチに戻ってくる子供達の姿や、力を出し切り疲れ戻ってくる子供・勝利に満面の笑顔で戻ってくる子供達など子供達の姿を見るたびに感動させられる事ばかりでした。

また、同学年の戦力が揃わなくて予選で敗退した時もありましたが、ここ最近毎年のように県大会に出場できるほどになってきました。県大会においても初出場の時とは違い選手・コーチも冷静に試合に臨むことができるようになりました。

勝つことだけを目標にしてるのではなく、普段の練習・チームワーク・楽しく皆でやるサッカーの結果として各大会での成績として残っているものと思います。

これからも感動と涙を、そしていつまでもサッカーを楽しめる環境を作り少しでも多くの子供達の心身の育成、サッカー技術の向上を目指し私達指導者も勉強し子供達と共に成長していきたいと思います。